

## 第9回南魚沼市子ども・子育て会議議事録

日時	平成28年3月30日 13:30から
場所	南魚沼市役所本庁舎 大会議室
参加	委員 13名（欠席：高橋（功）、齋藤、坂西、川島） 事務局 12名（子育て支援課、保健課、学校教育課） （欠席：教育部長、学校教育課長、学校教育課主幹）

### 議題

- (1) 小規模保育事業の認可について (資料1)
- (2) 平成28年度保育園利用定員について (資料2)

### 報告

- (1) 新規開園保育園の報告 (資料3)
- (2) 保育園から認定こども園に移行する保育園について (資料4)
- (3) 新年度からの利用者負担軽減（保育料）について (資料5-1, 5-2)

### 1. 開会（子育て支援課長） 13：30～

### 2. 議題

#### 議題(1) 小規模保育事業の認可について（事務局より説明）

◎事務局案を承認し、小規模保育所わかば保育園の設置を平成28年4月1日付けで認可する。

問1 認可の最終決定はどこが行うのか。

答1 市で行うが、その前に本会議で意見を聞くことになっているので、ご意見があればお聞きしたい。

#### 議題(2) 平成28年度保育園利用定員について（事務局より説明）

◎事務局案を承認し、平成28年度の保育園等の利用定員について一部変更し、県と協議を行う。

問2 新たに変更することによって、定員はどのくらい増えるのか。

答2 合計約90名の増となる。

### 3. 報告

#### 議題(1) 新規開園保育園の報告（事務局より説明）

◎平成28年4月より運営を開始する「たんぽぽ保育園」について、事務局より以下の通り報告。

- ① 新潟県の審査会で承認された旨の連絡を受けている。
- ② 当市で唯一の休日保育の実施園であり、また延長保育を他園より長く実施している園である。

問3 4月からの開園についての周知はどのように行うか。

答3 3月に園での内覧会を開催済みであり、市報にも掲載済みである。

#### 報告(2) 保育園から認定こども園に移行する保育園について（事務局より説明）

◎事務局から以下の通り報告。

- ①野の百合保育園、わかば保育園が、保育所型認定こども園として平成28年4月1日より移行する。
- ②上記については新潟県の審査会で承認された旨の通知を受けている。

#### 報告(3) 新年度からの利用者負担軽減（保育料）について（事務局より説明）

◎事務局から以下の通り報告。

- ①平成28年度からの保育料軽減の変更について

現在の多子計算に係る年齢制限は、1号認定については小学校3年生、2・3号認定の児童については小学校就学前までとされているが、年収約360万円未満相当の世帯（1号認定とひとり親世帯については市民税所得割額が77,100円以下の世帯、2・3号認定のふたり親世帯については市民税所得割額が57,700円以下の世帯）について、年齢制限を撤廃し、第二子半額、第三子以降無償化とする。

- ②平成28年度の南魚沼市の保育料について

保育料の月額表は平成27年度からの変更はないが、軽減対象世帯の月額表を新たに別表として移したため、階層が少なくなっている。

また、多子計算の年齢制限の撤廃とたんぽぽ保育園の延長料金について注釈を追加した。

保護者への通知は国からの正式な決定が出てからとなる。

問4 軽減対象世帯の保育料が安くなるのは何月からか

答4 4月から適用される。

#### 4. その他

◎事務局から次回の開催について以下の通り報告。

現委員の委嘱が平成28年度の7月で切れるので、その際に委員の変更を確認して委嘱状を送る。次回の開催についてはその際、7月頃に行う予定である。

**問5** 塩沢地区にどろんこ会の保育園ができるという話だったが、その経過について教えてほしい。

**答5** 平成28年度、大木六保育園の敷地内に新築し、平成29年4月に保育所型認定こども園を定員75名で開設するという協議を県に挙げている。内示をもらい次第、大木六保育園の解体工事に入る。

**問6** 年度が替わり市役所内の人事異動があっても、子ども・子育て新制度の趣旨を尊重できるように進めてもらいたい。

**答6** 担当職員が変わっても市の方針が変わることは許されないので、今までの制度・考え方を踏襲した上でさらに良い対応を考えていく。市長も子どものための保育となる制度運用でなければならないと考えており、その考えに基づいて運用していくので、引き続きご協力お願いしたい。

#### 5. 閉会 14:15